

河北新報

2026年(令和8年)
3月18日(水)

河北新報社

〒980-8660
仙台市青葉区五橋1-2-28
www.kahoku.co.jp

「東」は、未来



総合案内 022(211)1111
読者センター(211)1447

ご購入申し込みは
オオク ミナヨム
0120-09-3746

再生へ心ひとつに

東日本大震災15年

仙台・白梅や紅梅など126本見頃 15

春の風物詩「梅を観る会」が、仙台市若林区のせんだい農業園芸センターみどりの社で開かれている。白梅や紅梅など126本の多くが見頃を迎えている。29日まで。



コロッケの聖地へ 宮城で協会設立 4

仙台市の一般社団法人「食のみやぎ応援団」は、宮城で地域の食材、食文化を生かしたご当地コロッケの開発とPRを手がける「みやぎコロッケ協会」を設立した。

フラワー長井線 日本酒飲んで応援 4

第三セクター「山形鉄道」のフラワー長井線の運営支援につなげようと、酒造大手の大関などが同線の車両をデザインした日本酒缶を開発した。20日から販売する。

コロッケ「宮城を聖地に」

35社で協会設立 食の魅力発信

宮城をコロッケの聖地に。仙台市の一般社団法人「食のみやぎ応援団」は17日、宮城で地域の食材、食文化を生かしたご当地コロッケの開発とPRを手がける「みやぎコロッケ協会」を設立した。県内に拠点を置く食品加工などの35社

どうほく経済

（17日時点）が参加し、コロッケを通して宮城の食の魅力を国内外に発信する。ご当地コロッケは、8年ほど前から食品卸のかね久（仙台市）が開発に取り組み、食のみやぎ応援団とともに牛タン、ずんだ、カキなど品ぞろえを充実させてきた。2025年11月に「みやぎご当地コロッケ総選挙」を仙台市内で初開催。26年1月には大阪でも開催、協会設立に弾みを付けた。協会は20、22日に宮城野区の三井アウトレットパーク仙台港で「総選挙」を開催する。県内外の商業施設などで総選挙を展開し、交流サイト（SNS）による情報発信も強化する。年3種のペースで新作を開発する予定だ。若林区であった設立イベントには関係者約50人が参加。かね久社長の遠藤伸太郎代表理事は「片手で食べられる安価なコロッケで、宮城の食の良さを多くの人に知ってほしい。観光誘客にもつなげたい」と意気込んだ。（吉田ちひろ）

卸売市

仙

大関など販売 売り上げで鉄道維持

桜を描いた車両を採用した。長井市の山形鉄道本社で16日に発表会があり、大関の村孝一広域営業本部次長は「電車に乗らなくても鉄道を支援できる新しい形の商品になった」とPR。山形鉄道の中井晃社長は「多くの人に手にとってほしい」と話した。

1800ミリ缶で価格は550円。沿線の山形県置賜地方の道の駅や酒販店などで販売する。続編として長井市花のアヤメを描いた車両の商品の販売も検討している。連絡先は武田庄一商店023(6331)6255。（中沢昂大）



協会の設立イベントで行われた「みやぎご当地コロッケ総選挙」

ローカル線 飲んで応援

第三セクター「山形鉄道」（山形県長井市）のフラワー長井線の運営支援につなげようと、酒造大手の大関（兵庫県西宮市）などが、同線の車両をデザインした日本酒缶を開発した。沿線地域の道の駅などで20日から販売し、売り上げの一部を鉄道の維持に活用する。

フラワー長井線描いた日本酒

フラワー長井線の車両をラベルに描いた日本酒缶



参加者は水産や仲卸の売り場ター・加工場な仲卸が小売業者口を解体する作パ用などに果仕分け・包装が関心を集めた